

# スクーター型の広告媒体開発 荷台の両面にサイネージ

Tech Voice

長)は、デジタルサイネージを搭載した電動スクーター「Loop」を開発。7月から、移動型屋外広告車として運用を開始した。

同製品は、車体(全長2.9m、高さ1.75m、幅0.94m)後部の荷台の両サイドに、(H)1.25×(W)1.3mの屋外用ディスプレイと防水仕様のスピーカーを設置し、静止画の広告をスライドショーで放映しながら走行するもの。

Tech Voice

通常のアドトラックで

(本社東京、荻井保都社)

は入れない小道を走れる

ことや、画面の明るさ

・音量共に走行する場所や時間に

応じて調節

できること

が特長。ま

た、100

%電力で駆

動し、ルー

フには補助

的な充電機

能としてソ

ーラーパネ

ルを設置。サ

ステナフル

にも配慮した。

車体はヨーロッパで普

製品発表会に登場した実機



ンの取り付けなど最終的なカスタマイズを自社で行っている。

製造台数は、運用開始

時点で3台。広告枠とし

ては、3台をシャックし

連なって走行するパター

ンや、同じ区域内を別々

に周回するパターンを想

定しているという。1日

3時間、最大6時間の走

行が可能で、走行距離は

1日60〜80キロを見込んで

いる。

走行速度は時速25キロ以

下を基本としているた

め、広告を見た人のアク

ションを期待できるとい

う。サイネージに同社サイトのQRコードを表示した渋谷エリアでのテスト走行時は、1時間で約50人の通行人がコードを読み取った。

7月から開始した広告

運用では、アクセサリ

ブランドやマスクを販売

するアパレルブランドな

どが出稿。新宿エリアや

渋谷エリアなど、ターゲ

ットに合わせた地域を走

行した。

また、荷台内部は空洞

になっているため、配達

車としても運用可能。飲

食店にリースし、デリバ

リーサービスやフードをサイネージで宣伝しながら配達するような活用方法も検討している。

◇

## DSアワード

### 大賞は新宿駅の

(一社)デジタルサイネージコンソーシアム

(DSC、中村伊知哉理

事長)は7月3日、「デジ

タルサイネージアワード

2021」の受賞作を発